

卓

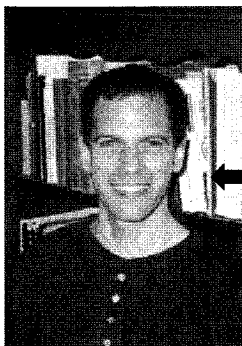
球の絶対的实力を数値で表す「レーティング」(前号参照)を日本卓球界に導入するにはどうしたら良いだろうか。まず、どのような選手を対象にするかだ。もつとも活気に満ちた中・高校生の試合に導入したいところだが、残念ながらそれは無理である。試合結果という相対實力から絶対實力を検出するのがレーティングであるから、試合ごとに全員が實力アップしていくような集団に使用しても機能しないのである。したがって導入対象は(皮肉にも)實力の安定している大学生以上をメインとすべきだろう。次に誰がやるかだ。普通に考えれば、日本卓球協会が主導するのが筋であるが、これは無理だろう。現状でレーティングがなくて困っている人がいるわけでもないし、ただ面白そうというだけの理由では、金と手間のかかるシステムを入れることはできない。

ではどうしたら良いか。インターネットを利用するのである。ここを読んでいるヒマな人で、インターネットに明るい人がシステムを作り、日本中から選手の登録と試合結果の輸入を募って、もう勝手に日本中の卓球選手にレーティングをつけてしまおうのである。もちろん、こんなレーティングには何の権威も実効性もない。ただ興味がある人だけがあれこれと論評し合うだけだが、それだけでも楽しそうではないか。それが意外にも的確だったりすると、だんだんと存在が大きくなっていつしか権威が発生し、事実上の重要基準になることも夢ではない。そうなるから日本卓球協会が「使わせて欲しい」と言ってくるかもしれないが、そのときは気持ち良く提供すれば良い。と、このような妄想を膨らませて、レーティングを使っているアメリカ卓球協会(以下USATT)のウェブサイトにその理論について問い合わせしてみると、

文・イラスト = 伊藤条太
卓球コラムニスト

奇天烈 逆も～ジョン

～卓球よもやま話～



STIGA <http://www.ratingscentral.com/>

こいつが
世界中の選手に
勝手にレーティング
を付けている
デビッド・マーカーだ

話はここから意外な展開を見せたのである。返事をくれたのはデビッド・マーカーという男だった。この男、やおら「今のUSATTのレーティングには理論などない」と言。経験から適当に計算方法を決めているだけであり、理論も何もないというのだ。この鼻息の荒さはただごとではないと思つたら、なんとこの男、ノーベル賞受賞者を毎年出している、かのマサチューセッツ工科大学で確率論の博士号を取つたというとんでもない奴なのである。その彼が、卓球用に開発した完璧なレーティングシステムが別にあるという。それは、各選手の實力を確率分布で表して、「負け確率関数」と試合結果を使ってベイズ推定によって實力の確率分布を改訂していくという方法で、理系の人間にはたまらない論理性と厳密性を持ったシステムである。そんなすばらしいシステムがあるならどうしてUSATTが使っていないのだろうか。「シエリー会長とその取り巻きの幹部たちが自分を嫌

●その24● レーティングの話②

っているから」というのがその理由である。会つたこともない私にいきなりこんなことを書くこの人が、どんな人物かだいたいお分かりのことと思う。こういう人が私は大好きなのである。

次に、彼が紹介してくれたステイガのサイトを見て私は飛び上がった。なんとこのサイトでは、世界選手権やプロツアーなどの試合結果を世界中から脈絡なく集めて、彼が開発したシステムでレーティングを勝手に計算して発表しちゃってるのである(もちろん選手もITTFもこんなものは知らない)。それによると、トップは王皓で3175±38(平均±標準偏差)、日本人では水谷隼がトップで2956±36である(10月4日現在)。さらに驚くべきことに、ここには誰でも無料で選手登録をして、試合結果を人力できるようにになっているのである。そう、私が求めていたものはすでにここにあったのである。素晴らしい!

そういう訳で、上のほうを読んでムラムラとやる気を出していたそのキミ、このサイトにアクセスして試合結果をどんどん入力しよう(多少の英語でのやりとりが必要である)。日本選手はすでに2000人ほど登録されているから、まずは日本リーグや全日本選手権など、これらの選手が含まれている試合結果を入力して、だんだんと一般の選手に広めていけば、基準が保たれたまま全国展開できるはずである。今のところ総登録選手数はアメリカをはじめとする約1万7千人だが、データ容量の心配はないというである。分布などの表現機能が今ひとつだが、卓球界初の世界統一レーティングであることに変わりはない。世界中の訳のわからない国や選手たちとレーティングを通じて明日からみんな卓球兄弟だ! IT時代ならでは、なんとも壮大で楽しい遊びではないか。

(文中敬称略)